

平成26年1月31日

上田市長 母袋 創一 様

上田西部地域協議会  
会長 関 俊 雄



意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり上田西部地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	放課後児童対策について
2 意 見 内 容	<p>第一次上田市総合計画後期基本計画における上田西部地域の地域まちづくり方針の一つに「多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり」を掲げています。</p> <p>上田西部地域協議会「子育てと高齢者」分科会では、地域の子育てについて状況を把握するため、小学生の保護者を対象にアンケートを実施し、放課後の過ごし方の実態、通学時の不安点、子育てに関する様々な要望の集約を行ないました。</p> <p>アンケート結果及び地域内の現状等を調査した結果を踏まえ、放課後児童対策について下記のとおり意見書を提出します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>提言1 児童館・児童センターの増設</p> <p>提言2 放課後児童クラブの環境改善等</p> <p>具体的内容につきましては、別紙「上田西部・塩尻地域の放課後児童対策に関する提言」のとおりです。</p>



上田西部地域協議会意見書

上田西部・塩尻地域の放課後児童対策に関する提言

平成 26 年 1 月 31 日

上田西部地域協議会



## 上田西部・塩尻地域の放課後児童対策に関する提言

### 1 上田西部地域協議会の取組み

第四期上田西部地域協議会では第一次上田市総合計画後期基本計画上田西部地域まちづくり方針実現のため、「子育てと高齢者」「地域の安全」「地域遺産の保全と活用」の3つの分科会を設け調査研究してまいりました。

### 2 「子育てと高齢者」分科会の活動

西部地域協議会の三つの分科会の内、「子育てと高齢者」分科会では、関係する西部地域まちづくり方針実現のため、「子育てがしやすく、また高齢者も障がい者も安心して暮らせるやさしいまちづくり」をテーマに掲げ、検討しています。

「子育て」については、西小学校、塩尻小学校の保護者に御協力をいただき、子育てアンケートを実施し、放課後の過ごし方の実態、通学時の不安点、子育てに関する様々な要望の集約を行ないました。

その結果、放課後児童対策に関する要望が多くありましたので、意見書として提言することとしました。

なお、平成19年に西小学校、塩尻小学校の保護者対象に「放課後児童対策」についてのアンケートを実施し、内容を集約し、平成20年3月に上田西部地域協議会から意見書「放課後児童対策について」を提出し、小学校内に放課後児童クラブの開設、既存の児童館・児童センターの施設改善・利用時間帯の改善を提言しました。

これにより、平成21年4月に放課後児童クラブとして、西小学校内に西部児童クラブ、塩尻小学校内に塩尻児童クラブが開設され、既存の児童館・児童センターの施設改善・利用時間帯の改善がされるなど子育ての環境は良くなっております。

### 3 課題と現状について

近年、女性の社会進出や経済事情により、母親の有職率が高まっております。西小学校では71.2%、塩尻小学校では72.4%の母親が常勤もしくはパートなどの仕事をしており、また、核家族の増加、祖父母等の介護により、日中家庭での子育てが十分に出来ない世帯があります。

放課後の時間帯において、「遊び」及び「生活」を支援することを通して、子どもの健全育成を図るために、子どもに適切な遊び及び生活の場を提供する必要があり、そのための施設として放課後児童を受け入れる施設は必要であります。

西部・塩尻地域にある西部児童クラブ・塩尻児童クラブの年間の利用児童数(延べ人数)は、平成24年度は平成21年度に比べ、西部児童クラブは2.3倍、塩尻児童クラブ

は4.6倍になっておりますが、両児童クラブの定員は、平成21年4月の開設以降増加しておりません。これは、毎日の利用人数に変動があることから、定員に関わらず、利用希望者は全員受け入れている状況であります。

今回、アンケートを実施したところ、放課後児童クラブの利用スペースについては開設当初と比べても大きな増加もなく、逆に利用者の増加により様々な問題が生じていることが判明しました。

そのため、放課後児童対策について以下のとおり提言します。

#### 4 具体的な提言

##### 提言1 児童館・児童センターの増設

現在の児童館・児童センター(以下「児童館等」という。)は各小学校単位に一つずつあり、西小学校は緑が丘児童館が緑が丘北地区に、塩尻小学校は秋和児童センターが秋和地区にあります。

しかし、児童館等を利用する場合は、原則学校から一旦家に帰り、児童館等に来館し、学校が決めた時間内に家に戻るようになるため、家から遠いところにある児童館等の利用は減少傾向にあります。そのため、家で一人で過ごすことが多くなるため、子供が犯罪に巻き込まれる、精神的に不安定になる等、様々な弊害が生じる可能性があります。

アンケートにおいても、子どもの放課後で不安に思うことの設定に対しては、西小学校・塩尻小学校の両小学校とも、①交通事故や不審者、②遊ぶ場所がない、③テレビゲームばかりしているという順で回答が多く、子どもが安心して過ごすために児童館等の増設を求めています。

特に、塩尻地域は国道18号、国道18号上田バイパスの主要幹線道路が走っているため、交通量が多く、道路の横断等には危険が伴うため、上塩尻・下塩尻地区への新たな児童館等の設置が望まれます。

##### 提言2 放課後児童クラブの環境改善等

###### ① 十分な利用スペースの確保

放課後児童クラブの定員の算出は、子供が利用するスペースを児童一人あたり1.65㎡(厚労省の基準)で計算し設定されておりますが、定員を超える申し込みがあった場合でも、弾力的に受け入れていることから、定員以上の登録者になっております。

西小学校放課後児童クラブ 定員 40人 ⇒ 25年度登録者数 93人

塩尻小学校放課後児童クラブ 定員 35人⇒ 25年度登録者数 69人

天候や学校行事のため、日によっては定員以上の利用があり、足の踏み場もないくらい混雑し、また、勉強をする机なども確保できず、落ち着いて宿題等が出来ない環境が常態化している状況であります。

特に、塩尻児童クラブでは利用するスペースが足りないため、男女更衣室を利用している状態であり、十分な利用スペースが確保できている状態ではありません。

## ② 安全・衛生面に配慮した施設整備

放課後児童クラブは子どもが日々生活する場であるため、食事、休養などの基本的な生活を保障する機能を満たす施設が必要であります。

特に、「生活」の場として、安全・衛生が確保された、手洗い場、台所設備等が必要であるが、西部・塩尻両児童クラブとも、炊事場が手洗いほどの小さいものしかなく、おやつ準備に際しては、先生方が大変苦勞されております。

## ③ 防災・防犯対策について

災害や不審者侵入などの非常時に対する施設対策が不十分であります。

特に、西部・塩尻両児童クラブとも、利用スペースが2階にあるため、非常時における避難経路が限られますが、専用の非常階段もなく、体育館の2階へ逃げる経路のみでは不十分であります。

## ④ 日曜日の開設

勤務形態の多様化により、交代勤務のため土日祝祭日に勤務する保護者が増えております。現在は、平日と土曜日・学校休業日のみの開設となっておりますが、日曜日の開設要望があります。各児童クラブへの設置でなく、市内に何箇所か設け、必要な時に預けられることが必要と考えます。

## 5 その他

今回のアンケートの中で、児童館・児童センターと放課後児童クラブの機能・役割等の違いを十分に理解されていない保護者がいることがわかりました。両施設を効率的にまた有効に活用してもらうために、行政から保護者への説明や、各施設からの更なる情報提供をお願いします。





緑が丘児童館・秋和児童センター位置図  
(児童クラブは各小学校体育館内)



